

第51回横浜労災病院地域医療支援委員会議事録

【開催日時】 令和2年1月27日（月） 19:30～20:15

【場 所】 横浜労災病院 管理棟地下大会議室

【司会進行】

委員長（議事の進行）

高橋事務局次長（議事以外の進行）

【出席委員】 内藤委員長 鈴木副委員長 大山委員 岩田委員
清水委員 山本（俊）委員 二宮委員 坂本委員
片山委員 山本（智）委員 安江委員 高野委員

【欠席委員】 芝山委員

- 1 開会
- 2 梅村病院長挨拶
- 3 委員長、副委員長の選出について

委員会規程に基き、横浜市医師会常任理事の内藤先生を委員長に、港北区医師会会長の鈴木先生を副委員長に選出した。

4 議事

(1) 入院・外来患者数等実績報告（令和元年度11月累計）（松本連携係長より説明）

1 紹介・逆紹介件数（年度推移）

紹介及び逆紹介件数（月平均）は、平成30年度1667.4件/1485.7件、令和元年度1758.4件/1443.6件（11月累計）で紹介件数が増加している。

2 紹介率・逆紹介率（年度推移）

紹介率及び逆紹介率は、平成30年度90.8%/80.9%、令和元年度93.3%/76.6%（11月累計）であり、紹介率が増加し逆紹介率は減少となった。

3 入院患者数・平均在院日数

1日平均入院患者数及び平均在院日数は、平成30年度533.9人/10.3日、令和元年度528.9人/10.0日（11月累計）となり、平均在院日数の短縮したことで、入院患者数が減少している。

4 外来患者数（延患者数・実患者数）

1日平均外来患者数（入院中外来患者数/外来時他科受診患者数/実患者数）は、平成30年度1847.9人（353.3/357.7/1136.9）、令和元年度1849.7人（371.5/313.3/1164.9）（11月累計）と推移している。

5 救急患者数・救急搬送件数

月平均救急患者数及び救急搬送数は、平成30年度2003.6人/547.3台、令和元年度2034.0人/577.5台（11月累計）となり増加している。

6 即入院割合

即入院割合（月平均新入院患者数/救命救急センターを經由して入院した患者数）は、平成 30 年度 30.2%（1653.0/498.7）、令和元年度 30.7%（1669.8/512.8）（11 月累計）と推移している。

7 分娩件数・ハイリスク分娩件数

月平均分娩件数（通常分娩件数/ハイリスク分娩件数/ハイリスク分娩率）は、平成 30 年度 56.1 件（46.7 件/9.4 件/16.8%）、令和元年度 65.8 件（59.1 件/6.6 件/10.1%）（11 月累計）となり、ハイリスク分娩率が減少している。

8 分娩における診療圏地域別患者構成比（令和元年度は 11 月累計）

当院における分娩の診療圏地域別患者構成比は、病院所在地である横浜市港北区は 39.7%で昨年度より減少したが横浜市北部地区の約 4 割を占める。また、緑区や都筑区が伸びており、横浜市北部地区 6 区で約 8 割となり地域の産科医療に寄与している。

9 ノバリス治療実績

月平均患者数は、平成 30 年度 20.9 人（泌尿器科 7.9 人/呼吸器外科 2.3 人/脳神経外科 10.8 人）、令和元年度 20.5 人（泌尿器科 10.5 人/呼吸器外科 1.3 人/脳神経外科 8.8 人：（11 月累計）と泌尿器科の治療実績が伸びている。

10 ダヴィンチ治療実績

年間実績と月平均患者数は、平成 30 年度 158 件/13.2 人、令和元年度 80 件/10.0 人（11 月累計）となっている。

(2) 登録医制度（共同利用制度）の実施状況報告（松本連携係長より説明）

1 登録医の状況

「診療のご案内」や「労災だより」約 1,000 医療機関に配布し周知を図った。令和元年 12 月末現在の登録医療機関数は 589 医療機関（医科 454 医療機関、歯科 135 医療機関）776 名登録して頂いている。4 月以降医科は 15 歯科 2 の 17 医療機関が登録。

2 共同利用の利用状況

	(令和元年 11 月累計)	(平成 30 年度実績)
CT の検査目的の利用件数	1 8 4 件	2 8 2 件
MR I の検査目的の利用件数	1 4 7 件	2 0 4 件
上部消化管内視鏡検査目的利用件数	7 件	1 7 件
マンモグラフィー検査目的利用件数	1 件	0 件
入院患者の共同診療件数	0 件	0 件
図書室の利用件数	1 人	2 人

(3) 第18回市民公開講座について(開催報告)(松本連携係長より説明)

① 日 時 : 令和元年7月10日(水) 14:00~16:00

② 場 所 : 横浜ラポール(ラポールシアター)

③ テーマ : 知って得する健康講演会

第1部「前立腺がんと過活動膀胱」

講師 : 泌尿器科副部長 井上 淳

第2部「脳卒中の危険因子と予防」

講師 : 脳卒中センター長 今福 一郎

「脳卒中の最前線~超急性期治療の実際」

講師 : 脳神経血管内治療科副部長 戸村 九月

④ 参加者 : 165名(前回168名:港北区、緑区の参加が多かった)

⑤ アンケート結果 : 134枚(69.0%、男性70名、女性36名、無回答28名)
(70代の参加が75名、60代以上の割合が73.8%)

⑥ 広 報 : 広報よこはまとタウンニュースからの周知が多かった。

(4) 第23回登録医の会について(開催報告)

(松本連携係長より説明)

① 日 時 : 令和元年7月23日(火) 19:30~21:30

② 場 所 : 新横浜グレイスホテル 4階「サフィア」

③ 医療機関 : 32医療機関32人(令和元年7月現在登録医療機関数580)

④ プログラム

(第1部 登録医の会) 19:30~

「血液内科の現状について」 血液内科部長 阿部大二郎

「糖尿病診療の現状について」 糖尿病内科部長 鶴谷 悠也

「最近の当科の取り組み」 膠原病内科部長 藤原 道雄

「自然気胸の治療」 呼吸器外科副部長 山本 健嗣

「不整脈のデバイス治療」 不整脈科部長 小和瀬晋弥

「神経性やせ症の栄養療法の実際」 心療内科部長 柴山 修

「精神科治療について」 精神科部長 古川 良子

「救命救急の現状とこれから」 救急科部長 中村 俊介

(第2部 意見交換会) 20:30~ 4階「シャーロット」

(7) 質疑応答・意見交換

・入院、外来患者数等実績報告についての質疑

(岩田委員) 入院患者数が年々減少しているが、どのような要因があるのか。

回 答→ 診療報酬の改訂に伴い平均在院日数が短くなることで病床利用率が下がり入院患者数の減少に影響している。新入院患者数の増加に向けて皆さんの協力をお願いしたい。

(内藤委員長) 他の病院も在院日数一桁で退院させるため、各地域の先生方に逆紹介をして連携を深めている状況といえる。

(岩田委員) p. 14 の診療科別紹介件数・逆紹介件数等調では平成 29 年度の紹介率 88.8% 逆紹介率 82.5%であるが、p. 6 の紹介・逆紹介率と p. 15 の患者等実績には平成 29 年度の紹介率 89.1%逆紹介率の数値が 86.4%と異なっている。統計的に算定方法が違うのか。

回 答→ p. 14 の診療科別紹介件数・逆紹介件数等調の紹介率と逆紹介率の数値が誤っていたので訂正します。

(山本俊委員) 逆紹介率がやや下がっている。退院時に紹介医療機関に逆紹介で返して頂き、紹介なしで来院される救急においても医療機関に紹介すれば逆紹介が上がるのではないか。

(内藤委員長) 高齢者の救急搬送が多く、患者に合う逆紹介先を探すことが厳しいと思われる。また、紹介患者が他の医療機関に行き転帰がわからないことがあるため、逆紹介や報告等何らかの形で戻して頂きたい。

回 答→ 紹介医療機関へ逆紹介できるケースや病院で完結する症例もあり、逆紹介がうまくいかないことがある。逆紹介や報告等については、導入した新しい電子カルテにて確認をしていく。

(岩田委員) 逆紹介患者数は、紹介元への逆紹介でなくても、診療情報提供で記載した患者も含まれているのか。

回 答→ 含まれている。

(片山委員) 歯科の周術期連携で口腔ケアを行うことにより、入院日数が短縮されることがあり、積極的に受け入れをお願いしたい。

回 答→ 口腔ケアについては、地域の医療機関との連携が必要であり、現在準備を進めている。

(坂本委員) 12月8日に薬機法(旧薬事法)の改正があり、2年以内に退院時のカンファレンスに薬剤師が関連する流れになっており協力をお願いしたい。

(鈴木副委員長) ハイリスク分娩の分娩件数に占める割合が、平成 29 年度から下がっている。妊婦検診が無料化された影響があるのか。

回 答→ N I C Uの医師が一時期不在により件数が減っていたが、昨年 4 月から医師が増えており、今後回復すると思われる。

・市民公開講座の実施報告についての質疑

(内藤委員長) かなりの参加者の方がわかりやすいと好評であった。タウンニュースでの広報が大きい。病院の諸事情もあるが、今後の課題として、若い方が参加できるようにしていければいいと思う。

回 答→ 次回の市民公開講座は 2 月 28 日 (金) に開催する。テーマは「気になる心臓の病気について」と「健診結果の生かし方について」今までよりも若い世代の参加を期待している。

・登録医制度 (共同利用制度) の実施報告についての質疑

(内藤委員長) 各診療科紹介について、先生方の質疑応答も活発で好評であったと聞く。各科の状況が見えないと紹介・逆紹介がスムーズにいかないこともあり、さらに親睦が深まればいいと思う。

回 答→ 今回の診療科紹介は科を多く、短くまとめたことで評判が良かった。今年度もう一度登録医の会を 2 月 19 日に行うが、6 診療科の紹介を予定している。